

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	
科 目 名	公衆衛生学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年	学期及び曜時限		教室名	
担 当 教 員	下 埜 敬 紀	実務経験と その関連資格	関西医科大学医学部公衆衛生学講座 助教		
《授業科目における学習内容》					
臨床医学が個人の疾病を対象とするのに対して、公衆衛生学は集団の健康を対象とする。公衆衛生は人間の健康に関係するあらゆる事象を研究し健康の維持増進をはかる学問である。「公衆」はどのような集団を指すのか具体的な事象と対策、法規を学び、将来の健康づくりと疾病の予防に貢献できる力を養う。また、健康・疾病と生活を支える保健医療福祉制度や法的枠組みについて理解する。					
《成績評価の方法と基準》					
本試験により成績を評価し、素点60点以上で合格とする。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
公衆衛生が見える(メディックメディア)、国民衛生の動向(厚生労働統計協会)、厚生労働白書(厚生労働省web site)、国民健康栄養調査(厚生労働省web site)					
《授業外における学習方法》					
新聞やニュースで取り上げられている、公衆衛生学に関する問題を把握すること。					
《履修に当たっての留意点》					
公衆衛生学は、学生時代には把握しにくい学問です。しかし、看護師として現場に立つと多様な面で公衆衛生学の重要性をあらためて実感する時がきますので、そのことを踏まえて学習に取り組んでください。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	社会と健康・疾病との関係について理解し、個体および集団をとりまく諸要因の変化による個人の健康と社会生活への影響を説明できる。			
	各コマにおける授業予定	公衆衛生と健康の概念、国際保健			
第2回	授業を通じての到達目標	疫学とその応用、疾病の予防について説明できる。			
	各コマにおける授業予定	疫学			
第3回	授業を通じての到達目標	人口静態統計と人口動態統計、平均寿命、健康寿命を説明できる。			
	各コマにおける授業予定	保健統計1			
第4回	授業を通じての到達目標	粗死亡率、年齢調整死亡率・標準化死亡比や保健統計(疾病・有病・障害統計)の意義・現状を説明できる。			
	各コマにおける授業予定	保健統計2			
第5回	授業を通じての到達目標	医の倫理に関する規定、患者の人権の尊重について概説できる。リスボン宣言、インフォームドコンセント、患者の自己決定権について説明できる。			
	各コマにおける授業予定	医の倫理と患者の人権、関係法規			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	地域社会における医療の状況、機能および体制等を含めた地域医療について概説、医療計画、災害医療・救急医療を説明できる。		
	各コマにおける授業予定	医療法と医療体制、地域保健1		
第7回	授業を通じての到達目標	同上		
	各コマにおける授業予定	医療法と医療体制、地域保健2		
第8回	授業を通じての到達目標	日本における社会保障制度と医療経済、医療保険と公費医療、国民医療費の収支と将来予測を概説できる。		
	各コマにおける授業予定	社会保障と医療経済1		
第9回	授業を通じての到達目標	同上		
	各コマにおける授業予定	社会保障と医療経済2		
第10回	授業を通じての到達目標	生活習慣に関連した疾病の種類、病態と予防について、健康管理、健康診断、予防医学と健康増進を説明できる。ライフステージに応じた健康管理と環境・生活習慣改善・生活習慣病における患者支援や保健指導を概説できる。		
	各コマにおける授業予定	成人保健と健康増進		
第11回	授業を通じての到達目標	日本における障害者福祉の体制、関連法規(障害者総合支援法)について概説できる。ノーマライゼーションについて説明できる。		
	各コマにおける授業予定	障害者福祉		
第12回	授業を通じての到達目標	感染症法の概要と届け出義務、予防接種の意義と現状を説明し、ワクチンによる感染症予防の原理、感染症法を概説できる。		
	各コマにおける授業予定	感染症対策		
第13回	授業を通じての到達目標	食中毒の分類、現状について説明できる。学校保健、多職種間の連携について概説できる。		
	各コマにおける授業予定	食品保健、学校保健		
第14回	授業を通じての到達目標	産業保健(労働関係法規を含む)、労働者の健康管理を概説できる。		
	各コマにおける授業予定	産業保健		
第15回	授業を通じての到達目標	環境と健康・疾病との関係(環境と適応、生体環境系、病因と保健行動)を概説できる。		
	各コマにおける授業予定	環境保健		